

巨岩の山道を歩く
石老山・嵐山

実施日 2012年4月29日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 鈴木恵美子 SL島本陳重
 参加者 若村勝昭、佐藤金治、涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、渋谷賢寿、渋谷京子、柴田正喜、伊藤久雄、石附智江、遠井謙策、石原勝正 関塚七海、松丸恵美子、小名秀鋭 計15名
 費用 電車1,900円(新宿駅起算) バス190円 計2,090円
 タイム 相模湖駅(バス15) 石老山入口(09:00)表参道入口(9:40) 顕鏡寺(930-940)桜山コースと八方岩コース分岐(9:46)桜山コース合流点(10:05)融合平見晴台(10:15-1025)石老山山頂(11:00-11:33)大明神展望台(12:15-12:25)プレジャーフォレスト(13:15)嵐山(13:20-13:28)登山口(15:08)相模湖駅(15:30)

今日はゴールデンウィークの3日目で天気もよいので、高尾駅の人の多さに



まずびっくり。相模湖からバスで石老山登山口下車。15分ほど歩き、右に回り込み、登山道入口に出る。

岩と進み、顕鏡寺に着く。顕鏡寺から階段を登っていく。桜山コースと八方岩コースの分岐に出る。桜山コースは新しい道で、なかなか道で、巨岩を歩くと歌ったからにはという理由で、八方岩コースを採る。



奥の院を守る雷電岩、武士が試し切りしたと伝えられている試岩、神社を守っているように見える擁護岩、et c.の巨岩を楽しむながら行く。桜山コースとの合流点を過ぎるとなかなかのいい尾根道が続く。右側



檜、左は新緑がまばゆく、時折り吹き上げる涼風が心地よい。やがて融合平見晴台に着く。少々が山方面がよく見える。更に登ると石老山山頂に着く。



春霞は高尾を霞の中を霞の少しはいるが、を我々を歓迎してくれ、飛ぶ。大べもやつの昼食を楽しむ。

そこから、やや北西に向って尾根道、木段を下り、大明神展望台に着く。360度の展望が得られ、相模湖、高尾山、陣場山、蛭ヶ岳、大山などが望める。東に向かって、植林の中を下る。岩がゴロゴロして歩きにくいので慎重に。苔むした大きな岩が並ぶ。右下の沢の音が涼しげだ。

キャンプ場を過ぎ、可憐なチゴユリが幾つも咲いている。車道に出ると、「お疲れさまでした！早くビールが飲みたい」という気になるが、緊張をここで途切れさせず、プレジャーフォレスト(旧ピクニックランド)のバス停を過ぎ、嵐山に向かう。



プレジャーフォレストのフェンス脇の道を行き、左に曲がると山道らしくなくなり、苦労して登った道を又下る。小さな登り降り

を繰り返し、揺れる木橋を4つ程渡り、竹林に出て休憩を取る。彼方此方になる竹が顔を覗かせている。竹林が終ると、電波塔が見え、嵐山の山頂だ。相模湖から眺めたならかな稜線と、落葉広葉樹の織り成す景観が京都の嵐山に似ているので、その名がついたという。眼下には相模湖を望める。ここで一息入れて、下山のためのエネルギーを補給。相模湖駅へ向かってまっしぐらに下山。今日の山行を無事終えました。

参加された皆さん、そしてサポートして下さったリーダーの方々ありがとうございました。

(記・鈴木 恵美子)
(写真提供・涌井 良明)